

最終レポート

この研修で私はたくさんの興味深い経験と学びだけではなく、日本の文化や生活様式やその他たくさんのことを学ぶことができました。こういった文化や知識の交流は有意義であり、私を成長させてくれました。この機会を与えてくださった岡山県に感謝しています。

研修の初めは、ボランティアの先生による日本語研修があり、私たちの日本語能力の向上とよりよい経験となりました。周囲の人々は私たちが日本になじむことができるように、日本での暮らし方について様々な補助やアドバイスをしてくれました。

三週間の日本語研修を終えた 7 月、私たちは放電精密加工研究所 (HSK) での研修を始めました。その日は研修内容やルールの説明を受けるための会議に出席し、担当者や所長に会いました。HSK では、サーメテル加工のエリアで働きました。担当者の藤田さん、竹林さん、仁科さんに会いました。皆さんはすごく親切にしてくれました。仕事に関することをはじめ、文化や日々生活していくうえで生じるちょっとした問題でさえ助けてくれました。たくさん学ばせていただいたことに深く感謝しています。

研究所での役割はガスタービンの翼の表面加工を完成させることが任務でした。例えば研磨、養生テープ (塗装を施さない箇所を守るため使用される) の除去、角の保護と気泡緩衝材での梱包 (輸送中の保護のため) タービンの部品の整頓、シリアルナンバーの記入、その他頼まれたこと全てをしました。その作業は複雑ではありましたが、そこにいてじっと見ているだけではよくわかりませんでした。しかし義務の業務をこなすうちに上達することができました。時が経つにつれ、彼らは私たちを信用し、私たちの作業の成否を心配せず作業を割り振るようになりました。

サーメテル加工は、5 段階の工程を 2 ~ 3 回繰り返すことにより完成します。その工程はマスキング、ブラスティング、塗装、焼成、仕上げといったものです。私たちはそのサイクルの一部を担当し、マスキングと仕上げを中心にやりました。

しばらくして、所長は放電加工 (EDM) や電気切断機 (ECM) がある施設を案内しました。これらの機器は放電により金属に穴をあけたり切ったりします。私はこれらがどのような仕組みで稼働するのか知らなかったのですが思っていたより簡単で通常のものに似ていることがわかり、とても興味深く思いました。

私たちはまた、会社に所属したことの記念として贈呈されたステンレスボトルと弁当箱にブラスト加工を施しました。ブラスト加工の工程は面白く、失敗しないよう注意が必要なものでした。ブラスト加工は微細な粒を表面にあて、凹凸をなくし均等仕上げるものです。それを利用して、表面に描くのです。

型は私たちの好きな絵を施したマスキングテープでした。



上は使用したマスキングテープと、ブラスト加工の準備、EDM 機器、ブラスト加工の作業中の写真です。下は出来上がったものの写真です。



左の写真はガラスの粒子を使ってブラスト加工したもので、右はセラミック粒子で加工したものであり、その仕上がりには違いがあります。素材だけでなく、サイズにも違いがありました。セラミック粒子のブラスト加工の方が、写真でもおわかりのように、ほとんど失敗なくできあがったので、ガラス粒子のものよりも使いやすいです。

ほかに、私たちは木材の切断を通常の機器で行いました。それは非常に基本的なもので、自分の手を切らないよう注意するだけでよく、私は初めてそれを使った時のように今でもその作業が好きです。

研修先の会社は全員参加が必須の月例会議を開催しており、私たちもその会議に参加した。理解できない事項や読めない文章が多数あり苦労しましたが、会議のあと藤田さんがその内容をわかりやすく説明してくださったので

なんとか理解することができました。会議では会社の理念についても触れられました

仕事とは別に、所長は近隣の観光に連れて行ってくださいました。古い学校や刀を作っていた場所を訪れました。また、レストランで日本の伝統的な料理を味わいました。



この4か月間、私は日本の様々な場所に行き、色々な生活様式を見ました。例えば、東京と大阪のような大きな都市にも行ってみました。これら2大都市は、通りにはたくさんの人がいて、みんなそれぞれの目的地に向かって急いでいる様子が、ブラジルで私が暮らしているサンパウロとほぼ同じです。それはさておき、電車を使えばどこにでも行けて、住むには良い場所です。名古屋は活気と人にあふれており、業界から期待されている。

広島にも行き、第二次世界大戦の間に起こった出来事や日本の歴史について多くを学ぶことができました。また、戦後の苦痛と困難についても知りました。それでもなお、生活を取り戻し、今では本当に美しく力強い町となっています。

この研修の最後の最後まで、私は研修と日本の文化、生活様式、便利なもの、そして日本人の人々という、日本の全てを楽しみました。全てが興味深く良いものでしたので、ここ日本で最高の経験をすることができました。たくさんのお機会を与えられたこと、またたくさん素晴らしい人々に出会ったことに感謝しています。続く写真は会社のみなさんから頂いた小さな送別の贈り物と国際交流センターのみなさんの写真です。どちらの人々も私をたくさん助けてくれて、私は深く感謝しています。

